



八水だより

青森県立八戸水産高等学校新聞

令和3年度 入学式

令和三年四月七日（水）新入生を迎え入学式が行われました。（入学式校長先生の式辞より）八戸水産高校本科生七十名、専攻科生十二名の入学が許可され、創立百十三年を迎える歴史と伝統ある八戸水産高校の一員としてスタートを切りました。教職員、在校生とともに心より皆さんの入学を歓迎いたします。本科生の皆さんはこれからの生活に期待と希望を抱いていると思います。専攻科生については新たな気持ちで学校生活を迎えるようとしています。これまで皆さんの成長を願ってきた、周囲の方々の期待に応えられるよう将来に向けたより一層の努力が求められます。

今、予測しにくい社会で厳しい現実を乗り越える資質や能力豊かな人間性を育み、逞しく生きぬく力が求められています。

本校の生活で、世の中の変化に対応できる人間力、行動力を身につけて成長していくことを期待しています。本校のキャッチフレーズは、「海に学ぶ、海で学ぶ、八水高」です。無限の可能性を秘めた海について学び、本校でしか経験できない実習や学習活動が将来につながると思います。新入生の皆様には次の言葉を贈りたいと思います。「時に及んでまさに勉勵すべし歳月人を待たず」時を大切に、一瞬を逃がさず勉勵に励むという意味です。今を大切にしない者には、未来は手を差し伸べません。入学式を迎えた晴れやかな気持ち、大きな決意を胸に高校生活が充実したものになることを願っています。目標、そして行動、努力することにより自ずと道は開け必ずや多くの成果が得られます。まずは自分の目標をつくってください。



令和3年度、いざスタート！

対面式・新入生オリエンテーション

四月八日（木）、新入生を迎え在校生との対面式が行われました。対面式では、各学科の紹介と新入生の挨拶が行われました。新入生は緊張した面持ちで参加していましたが、先輩達のユーモアのある発表で場が和み、楽しい対面となりました。

四月九日（金）新入生オリエンテーションが行われました。生徒会の活動方針や学校生活・行事について説明があり、新入生は真剣に耳を傾けていました。部活動、愛好会の紹介の時間には各部より、工夫された紹介があり、部活動への興味がわいてきたのではないのでしょうか。高校生活の第一歩を踏み出す充実した時間を過ごすことができましたようです。

各学科の実習風景

四月十三日（火）、実習艇のペンキ塗り作業が行われました。海洋生産科三年の生徒の実習の一環として実施されました。四月十五日（木）水産工学科二年では船舶用エンジンを使った発停実習、四月二十一日（水）水産食品科二年ではホタテを使った加工品の製造実習が行われました。新年度の教育活動がスタートしています。新入生の皆さん、海のスペシャリストに向けての技能を習得しましょう。

